

くいの存にかかれ

毎日 ぼんやりすじしていゝ

ちんとなく 平和な日々

これびよりのか と思ひ ぼじゆた

美管の月刻に 友人のくちや

息子の妻の女親が ちよりの

小笠原かろの 友達を ちよりの

これかろ 二月に かくて 三人 袂立って いくた

この 年 になつて ちよりの ちよりの 年令

白の 日

アツと いう 例の 出来ごと の よう にか

あつた ちよりの ちよりの ちよりの

ちよりの ちよりの ちよりの ちよりの ちよりの

ちよりの ちよりの ちよりの ちよりの

ちよりの ちよりの ちよりの ちよりの

ちよりの ちよりの ちよりの ちよりの

ちよりの ちよりの ちよりの ちよりの

ちよりの ちよりの

ちよりの ちよりの ちよりの

人 至 水 終 ちよりの ちよりの ちよりの

あや人も この人もは

大変だが それがよりよい ありし方より

に思う しか予えてし さい そろはたす

自然 ~~せ~~の体で 去るなり いかげんさ

出あり 石人ほ 多分 ちやんた

自然に エース びい ちんた

きりんとし 区別 ちやんた 心か

そのより ちして ちやんた

2023
3/2